

事務局だより

長梅雨がやっと明けたと思ったら、一気に猛暑が襲ってくるという、なんとも変化の激しい気象状況で、さらに新型コロナウイルスのこともあり、どうにも落ちつかず気が滅入る感が拭えない昨今ですが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

お空のコンディション（おおよそ11年周期の太陽黒点活動と連動）は底を打ち、今後、徐々に上昇していく兆しが見え始めたようで、ようやくサイクル25がやって来そうです。これからしばらくはコンディションが上がる方向で、そのピークは2025年7月あたりと予測されています。予測通りであれば、もう2・3年すれば poor（貧弱）な設備でもいくらかはDX交信を楽しめるような状況になるかもしれません。（ちょっと気が早過ぎるでしょうか？）

さて、今年度もあっという間に事務局便りを発行する時期となりました。毎度ワンパターンで恐縮ですが、今回も当クラブの今年度のこれまでの活動について振り返るとともに、今後の予定などについてお知らせしたいと思います。

2020年度 1月～8月の活動報告

期 日	事 業 名	会 場
R2. 2. 8 (土)	2020年度（令和2年度）総会・懇親会	中田農村環境改善センター 居酒屋 五エ門中田店
R2. 3. 5 (木)	オンエアーミーティング	—————
R2. 4. 5 (日)	定例会・技術講習会	中田農村環境改善センター
R2. 6. 5 (月)	オンエアーミーティング	—————
R2. 7. 5 (水)	定 例 会	中田農村環境改善センター
R2. 8. 5 (水)	定 例 会	中田農村環境改善センター
R2. 8.17 (月)	事務局だより発行	—————

※ 新型コロナウイルスの影響により、以下のとおり事業が延期・中止となっています。

- ・ 5月5日（火）の定例会は中止となりました。
- ・ 5月31日（日）に予定していたモービルフォックスハンティングは、対外行事としては中止となりました。
- ・ 6月11日（日）と見込んでいた登米市総合防災訓練は9月に延期されました。
- ・ 8月2日（日）に予定していた移動運用は実施時期を再検討中。状況によっては中止となります。

● 総会・懇親会

総会は、役員都合により例年よりひと月遅れでの開催となりました。当日は8名の参加で、2019年度の事業報告・収支決算報告、2020年度の事業計画・収支予算案について審議が行われ、いずれも原案のとおり承認されました。また、役員改選については協議の結果全員留任となりました。



懇親会は、前年度の親睦会が事務局の都合等により中止となったことから、総会後に会場を移して開催することとしたものです。この会には5名が参加し、少人数ではありましたが楽しいひと時を過ごしました。

● 定例会

今年度は総会が2月開催ということで、1月と2月は実施しませんでした。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う非常事態宣言の関係で、登米市の公の施設の利用が一定期間制限された影響で、5月の定例会が実施できませんでした。

結果的に、これまで実施した定例会は4月、7月、8月の3回となっています。参加者数は毎回数名で、相変わらず少々寂しい状況が続いています。（7月は7名でまずまずの人数でした。）

● 技術講習会 …… パソコンとUSBタイプのワンセグテレビチューナー（ dongle ）を用いたSDR（ Software Defined Radio =ソフトウェアラジオ ）の解説と実演 …… 4月5日



この技術講習会に必要な物品の斡旋したところ、計8セットの申込みをいただきました。講習会当日は5名の参加でしたが、その中でJR7SWL・及川OMは個人的に既にいろいろと試しているということで、経験に基づく有益な情報の提供や、持参した機材によるデモンストラーションをしていただき、とても参考になりました。

今回の技術講習会に参加しかねた方・斡旋物品の申込みをしなかった方で、講習会で使用した資料がほしいという方がおられましたら、クラブ事務局まで申し出いただければ資料を送付いたします。



● オンエアミーティング

3月と6月に実施していますが、定例会と同様、参加者は数名という状況でした。オンエアミーティングへの参加は、情報交換や無線設備の動作確認、あるいは電波のとおり具合などの把握などになにかと有益かと思いますので、積極的に参加していただければ幸いです。

また、震度3以上の地震が発生した場合、145.50MHz±・FMモードでのオンエアミーティングも実施することとしています。これは、非常通信訓練の意味合いがありますので、都合のつく方は是非オンエアをお願いいたします。事務局が掌握している現在までの実施回数は1回となっています。

2020年9～12月の活動予定

期日・曜日	事業名	会場
R2. 9. 5 (土)	定例会	中田農村環境改善センター
R2. 10. 5 (月)	オンエアミーティング (定例会なし)	-----
R2. 11. 7 (土)	親睦会 (インドア移動定例会)	未定
R2. 12. 5 (土)	定例会及び役員会 (次年度総会等について)	中田農村環境改善センター

- ☛ 今後の定例会は9月5日(土)と12月5日(土)の2回のみです。

10月は定例会の代わりにオンエアミーティングとなっていますので、お間違えないようお願いします。

また、11月は親睦会が定例会を兼ねます。この親睦会については、新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止もあり得るかもしれませんので予めお含み置き願います。

- ☛ 延期となっている移動運用の実施について、8月5日の定例会で再検討いたしましたが、新型コロナウイルスの感染が再び拡大している状況のため、現時点で実施を決定することは困難ということで、今後再々検討することといたしました。
- ☛ モービルフォックスハンティングについては、今後、クラブ員のみを対象にして実施できないかどうか検討することとしていますが、まだ見通しは立っていない状況です。
- ☛ 登米市総合防災訓練は、規模を縮小して9月に実施する予定、と報道されています。ですが、登米市から当クラブ(災害時応援協定団体になっている)にはまだ何の連絡もありません。今後参加要請があった場合には、参加体制等について検討の上対応致します。

● 「JARL 宮城県支部ハムの集い」は中止

9月13日(日)に予定されていた「JARL 宮城県支部ハムの集い」は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。(別添「JARL 宮城県支部だより」を参照願います。)

サイレントキー（訃報）

当クラブ顧問の J A 7 L N・大畑俊雄氏が3月にサイレントキーとなりました。クラブ設立当時の重鎮を失うこととなり痛恨の極みです。

クラブからは、花環をお供えし弔意を示させていただきました。また、通夜並びに告別式には会長をはじめクラブ員有志数名が列席いたしました。

なお、告別式においては J A 7 K T X・及川会長が故人に対し最後の言葉を捧げ別れを惜しみました。合掌。



1. 9MHz 帯及び 3. 5MHz 帯の周波数が拡大

このことに関し、JARLのWebページに「1. 9MHz 帯及び 3. 5MHz 帯の周波数拡大に伴う JARL バンドプラン改正の概要」が掲載されていますので転載いたします。



令和2年4月21日に1.9MHz帯及び3.5MHz帯の追加割当に伴う周波数使用区別等の改正の告示が施行されました。

今回の周波数使用区別改正では、世界的に普及が加速しているデータ通信方式のFT8が1.9MHz帯で世界的に使用されている周波数での運用が可能となり、また、SSBなどの狭帯域の電話による通信等も可能となるほか、3.5MHz帯も帯域が拡大されました。

JARLでは、諸外国の運用や世界的な慣習等をふまえて総務省の使用区別告示とは異なる表記となりますが、別掲のとおりJARLバンドプランを取りまとめましたので、アマチュア無線の円滑な運用にご理解ご協力をお願いいたします。

●1.9MHz帯の追加割当された区分について

今回の使用区別告示の改正では、1800kHzから1810kHzの10kHz幅、1825kHzから1875kHzの50kHz幅の追加割当が行われました。

この追加割当の周波数については、使用区別告示ではこの周波数が全電波型式での割当となりましたが、特に1800kHzから1810kHzの区分については、諸外国の現状からは、この周波数でイギリスやドイツなどの国際アマチュア無線連合の第1地域(Reg1)での割当はなく、アメリカなどの国際アマチュア無線連合の第2地域(Reg2)、同じく第3地域(Reg3)のオーストラリアなどではすでに割当があるもののコンテスト等でのCWによる運用を確認しています。

この周波数で、日本国内でSSBやAMなどの電話による運用やRTTYなどのデータ通信がこの追加割当された区分で運用すると、Reg2やReg3でCWで運用している局に混信等の与えてしまうことが想定されることから、JARLとしてはCW専用区分としてのバンドプランに取りまとめることとしました。

また、1825kHzから1875kHzの追加割当の区分については、前述のとおり諸外国での運用している周波数等を考慮して、1825kHzから1830kHzについては、CW区分を追加することとし、1830kHzから1845kHzについては、現在、1840kHz周辺で運用が行われているFT8を代表とする狭帯域データに混信等を与えないように「CW・狭帯域データ区分」に、1845kHzから1875kHzまでの区分

については、SSBの電話やSSTVなどの画像通信、RTTYなどのデータ通信の運用が可能な「狭帯域の全電波型式区分」としました。

●3.5MHz帯の追加割当された区分について

今回の使用区別告示の改正では、3575kHzから3580kHzの5kHz幅と、3662kHzから3680kHzの18kHz幅の追加割当が行われました。

まず、3575kHzから3580kHzの5kHz幅が追加割当となることで、1.9MHz帯同様に、3573kHz周辺で運用されているFT8を代表とする狭帯域データがバンドエッジを気にすることなく運用することができることから、追加割当される周波数については、「狭帯域の全電波型式区分」としました。

一方、3662kHzから3680kHzが追加割当が行われる区分についても、これまで割当されていた3680kHzから3687kHzまでの周波数帯を合わせると25kHz幅となることから、追加割当された区分についても「狭帯域の全電波型式区分」としました。



※ JARLバンドプランでは、使用区別告示では、拡大された周波数帯は1.9MHz帯も3.5MHz帯について全電波型式での指定となっておりますが諸外国の運用や世界的な慣習等をふまえた表記とするほか、非常通信周波数やD-STAR等のデジタル音声の呼出周波数（推奨周波数）についても併記しています。

■ 別紙に「JARLアマチュアバンドプラン」を印刷しましたので運用の際にご活用下さい。

新入会員紹介

7月20日に一関市のJ P 7 X A Z・小野寺章義様が入会されました。末長いお付き合いの程、よろしく願いいたします。

クラブ用トランシーバーを活用願います！

昨年、クラブでオールモード・オールバンドトランシーバー「YAESU FT-991AS」を購入しています。「クラブ用トランシーバー等の備品取り扱いに関する申し合わせ事項」（今年の総会で正式決定）に基づき、クラブ員の皆さんへの貸し出しが可能となっておりますので、借用を希望される方は事務局までご連絡ください。

CQ ham radio 誌 2020年8月号のP.166~171に「VP2VB 英領バージン諸島 DX ペディション後編 (K08SCA Adrain Ciuperca 氏著)」の記事があります。その中で氏は「**私たちは、いつでも、何でもやりたいことは今やるべきだということを忘れてはならない。明日という日は数多くやってくるが、それは限られたものなのだ。**」ということを述べています。なんとも示唆に富んだ深いお言葉でしょうか！ 今はコロナ禍でなにかと制約が多くストレスを感じる日々ですが、発想の転換や様々な工夫などで、やりたいこと・できることを先送りせずに、出来る限り「今」やるのが大切なのかもしれないなあ～、などと思いを巡らすこの頃です。

Let's enjoy "Ham life" Aki

事務局 三浦明彦 (JA7IUX) 〒987-0602 中田町上沼字大泉門畑 55-1 ホームページ : http://www.jarl.com/tome/ E-mail : ja7zyk@jarl.com TEL : 0220-34-4986
